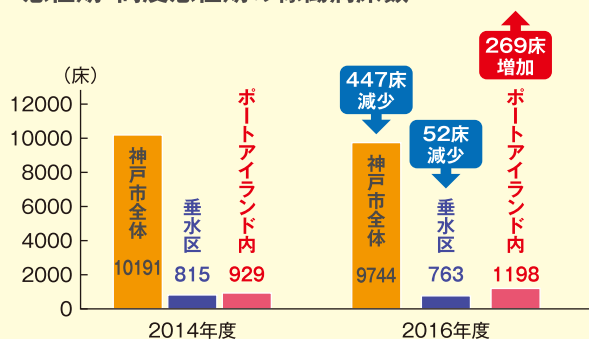


いざ、病気やけがをしたときのために

地域の医療体制を しっかり 守ります

■急性期・高度急性期の稼働病床数

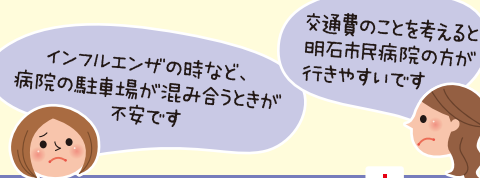


※(注)ポートアイランド内の病院…中央市民病院、先端医療センター病院、神戸マリンナース厚生会ポートアイランド病院、あんしん病院、神戸低侵襲がん医療センター、西記念ポートアイランドリハビリテーション病院、県立こども病院、神戸国際フロンティアメディカルセンター

人口に比べて病院が少ない垂水区。特に求められているのは、救急・重症者など、「急性期」の医療です。赤田かつのり議員は、市議会で次のことを明らかにしました。

神戸市全体でも垂水区でも急性期・高度急性期の稼働病床数が減り続けています。一方で、ポートアイランド内の病院だけが増え続けています。

いま、国と県が入院ベッドを再編・統合する計画を推進しています。計画が具体化されれば、神戸市内の医療に深刻な影響が出てしまいます。市民病院や大学病院など、大病院のみではなく、地元で安心して医療を受けられるようにすることこそ重要です。



小児科をもつ病院が足りません

国が毎年社会保障費を削減し続けていることによって、医療機関の経営が厳しさを増し、医師不足も深刻になりました。日本共産党議員団は地域の医療を守るために国会議員とも連携して全力をあげます。

困っている人をほっとけない!

神戸市議員 **福祉・医療・介護・子育てに全力投球!!**

赤田 かつのり

KATSUNORI AKADA

プロフィール/1967(昭和42)年8月生まれ。本多間在住。乙木小・垂水東中・長田高校・大阪教育大学大学院修士課程修了。日本共産党神戸市議員団幹事長。今年度は神戸市会で福祉環境委員会委員長を務めています。

垂水区を もっと“好き”なまちに

身近なことから
地道に一生懸命



小東山6丁目付近の交通安全対策を求めました

赤田議員:「交差点付近の横断は、特にお年寄りや子どもたちにとって危険です。交通渋滞対策とともに交通安全を確保する観点から抜本的な対策を練り上げるべきではないでしょうか」

建設局道路部長:「横断歩道を児童が渡るということで、信号機を設置してほしいと要望があることについても認識はしています。抜本的な対策の中で、このような安全対策を図るべく検討を進めていく責務があると考えています」(3月7日の予算特別委員会)



神陵台小学校前

歩道を直していただきました。



お年寄りの方が歩行中に転倒

本多間

暗い夜道、明るくしていただきました。



引き続き要望していきます

坂道が多い垂水の町バス路線の改善が必要です

バス路線の拡充も必要ではないでしょうか。バス事業者や神戸市に要望していきます。

買い物などで外出するのがたいへんです



- 山陽西舞子駅に沿う路線の安全対策を
- 明舞団地北部から垂水駅までの直通バス路線の設置
- 舞多間地区に郵便局の設置を
- 学園南地区内に中学校の新設を
- 垂水養護・青陽西養護学校跡地は住民に飲ばれる利活用を
- 父子家庭にも、母子家庭同様の支援策の実施を
- 産科や小児科など、地域医療の基盤を維持するための助成制度の創設を



生活相談は赤田かつのり議員まで

暮らしの悩みや不安を独りで抱え込まないでください。なにか、解決の糸口が見えてくるかもしれません。私は生活相談活動から市が取り組むべき課題を学んできました。

お気軽にご相談ください。

赤田かつのり

事務所連絡先

垂水区坂上4-2-16 TEL ▶ 753-5287 FAX ▶ 753-5289

mail ▶ jcpkobewest@sea.plala.or.jp ブログ f t 赤田かつのり 検索

